

2023年の気象条件では「山木屋在来ソバ」は 7月下旬～8月上旬の播種が適していた（川俣町）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 山木屋在来ソバの栽培実証（川俣町）

担当者 佐藤越萌、松岡宏明

I 新技術の解説

1 要旨

川俣町山木屋地区では、在来品種「山木屋在来ソバ」が栽培されてきたが、東日本大震災以降栽培が停滞したこともあり、近年の気象条件に適した栽培条件を確認する必要がある。そこで、播種時期について栽培実証した結果、7月下旬～8月上旬に播種することが望ましいと考えられた。

- (1) 2023年は平年に比べて気温が高く、日照時間が多く、降水量が少なく推移した（図1）。
- (2) 施肥は $N-P_2O_5-K_2O=2.8-2.8-2.8$ (成分 kg/10a)、苦土石灰 30kg/10a、塩化カリ 32.5kg/10a とした。
- (3) 「山木屋在来ソバ（商標：高原の宇宙（そら）」を7月下旬、8月上旬、8月中旬に播種したところ、登熟日数に差は見られなかったが、播種時期が遅くなるにつれて主茎長は短く、主茎節数は少なくなる傾向にあった（表1、2）。
- (4) 子実重はいずれも120kg/10a以上となり、7月下旬播種が最も多かった（表3）。
- (5) 容積重はいずれも一等の最低限度（640g/L）を満たしたが、千粒重は8月中旬播種が軽かった（表3）。

2 期待される効果

- (1) 「山木屋在来ソバ」の作付拡大に繋がる。

3 活用上の留意点

- (1) 排水不良ほ場では排水対策を十分に行う。

II 具体的データ等

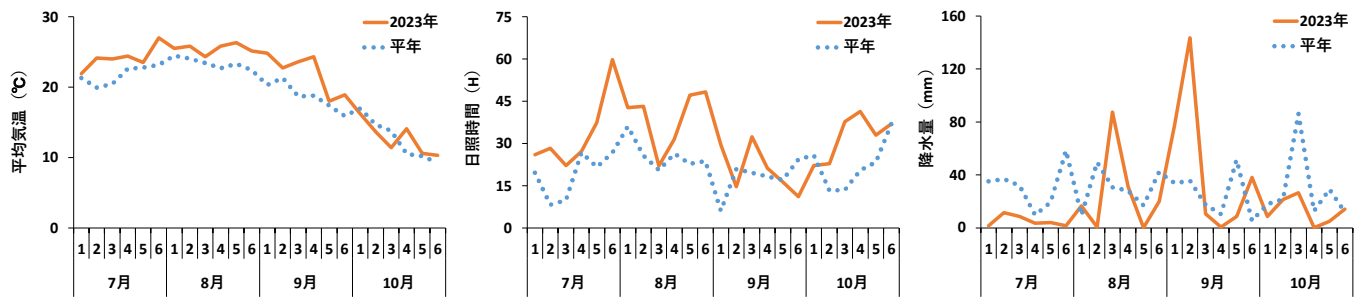


図1 2023年度半旬別気象図（飯館アメダス、平年値は2018～2022年）

表1 生育ステージ

区	播種日 (月日)	出芽期 ¹⁾ (月日)	開花期 ²⁾ (月日)	成熟期 ³⁾ (月日)	開花日数 ⁴⁾ (日)	登熟日数 ⁵⁾ (日)
7月下旬播種	7月24日	7月29日	8月15日	9月28日	17日	44日
8月上旬播種	8月1日	8月6日	8月24日	10月7日	18日	44日
8月中旬播種	8月10日	8月15日	9月6日	10月19日	22日	43日

- 1) 出芽期 全体の40～50%が出芽した日
 2) 開花期 全体の40～50%が開花した日
 3) 成熟期 子実の70～80%が成熟した日
 4) 開花日数 出芽期～開花期までの日数
 5) 登熟日数 開花期～成熟期までの日数

表2 播種時期別の成熟期の生育

区	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	主茎 (cm)	倒伏程度 ¹⁾
7月下旬播種	111.6	14.6	3.7	0.7	中
8月上旬播種	104.1	13.4	3.6	0.7	中
8月中旬播種	91.2	12.9	3.3	0.7	少～中

- 1) 倒伏程度 主茎の傾斜角度について、
 60°以上：4、40～59°：3、20～39°：2、10～19°：1、9°以下：0
 とし、各指数にそれぞれの面積率をかけた総和を求め、以下の指数にあてはめて判定した。
 0.0：無、0.1～0.5：微、0.6～1.0：小、1.1～2.0：中、2.1～3.0：多、3.1～4.0：甚

表3 播種時期別の収量（水分15%換算）

区	子実重 (kg/10a)	千粒重 (g)	容積重 (g/L)
7月下旬播種	150.5	28.1	666.1
8月上旬播種	127.5	27.1	665.0
8月中旬播種	120.2	25.8	643.3

III その他

- 執筆 佐藤越萌
- 実施期間 令和5年度
- 主な参考文献・資料 なし